

# 花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース  
文：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！という初心者を対象に、簡単にできる寄せ植えを紹介するコーナーです。  
※不定期で連載します。

## 第3回 秋色の強健植物で作る寄せ植え

水やりを忘れてもすぐにしおれず、暑さにも寒さにも強い植物だけで寄せ植えをすれば、長期間楽しめます。

今回は、秋色の赤と紫を使った寄せ植えを紹介します。赤と紫、赤とオレンジ色のように、色相環で角度にして約40°の隔たりがある近似色の配色を「類似調和」といい、女性的な柔らかいイメージを演出できます。



### 鑑賞期間

通年。5年間くらいこのままで育つ

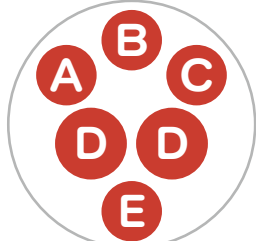
### 水やり

鉢土の表面が乾いたら

### 置き場所

日向又は明るい日陰

### 植え込み図

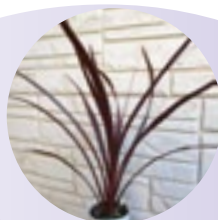


ボウル型コンテナのサイズ：直径30～35cm



### A ハツユキカズラ

新葉にピンクや白のまだらが入る姿が美しい。蔓性低木。



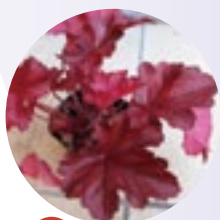
### B コルジリネ・レッドスター

光が弱いと新葉の発色が悪くなる。春と秋は日光によく当て、夏は明るい日陰で管理する。



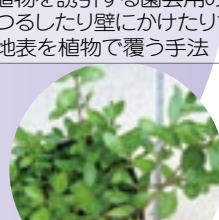
### C ツルニチニチソウ

常緑性。トレリス(※1)にはわせたり、ハンギング(※2)やグラントカバー(※3)にしたりと色々な仕立てで楽しめる。



### D ヒューケラ・ドルチェ (左)チェリーコンポート (右)シルバーデューク

葉の神秘的な色が年中楽しめる。初夏から夏にかけては小花がさんごのように美しく咲く。



### E イワダレソウ

冬にやや枯れこむが、春には一面のフラワーカーペットを作る。

※1 植物を誘引する園芸用の柵  
※2 つるしたり壁にかけたりする手法  
※3 地表を植物で覆う手法

### お手入れのコツ

ハツユキカズラとツルニチニチソウはよく育つので、春から初秋の温度が高い間は、伸びたら刈り込むなどのお手入れが必要です。

また、肥料を与えるとどんどん成長して植え替えないといけなくなるので、無肥料で栽培します。



1

コンテナに仮置きしてバランスを確認します



2

鉢底石として、大粒の軽石を底面が見えないように敷きます



3

園芸培養土を入れ、仮置きのとおり植物を並べていきます



4

高さのあるフラワースタンドに設置すると、存在感が出て豪華に見えますよ